

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
高津川流域の減災に係る取組について

令和6年度 第1回 協議会

令和6年6月5日（金）

高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

益田市、島根県、松江地方気象台
国土交通省浜田河川国道事務所

高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 規約

(協議会の実施事項)

第4条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

一 洪水の浸水想定等の水害リスク情報並びに、各構成員がそれぞれ又は連携して実施している現状の減災に係る取組状況等の共有。

二 円滑かつ迅速な避難、的確な水防活動及び円滑かつ迅速な氾濫水の排除を実現するために、各構成員がそれぞれ又は連携して取り組む事項をまとめた「地域の取組方針」の作成・共有。

三 「地域の取組方針」に基づく対策の実施状況の確認。

四 その他、大規模氾濫に関する減災対策に関して必要な事項を実施。

これまでの経緯

- 平成27年9月関東・東北豪雨災害を契機に、「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水に備える必要があるとして平成27年12月に「水防災意識社会再構築ビジョン」が策定され、減災対策協議会を設置した。協議会で各機関の5か年の取組方針を作成し、毎年、進捗状況をフォローアップしてきた。その間、緊急行動計画（平成29年6月）や緊急行動計画の改定（平成31年1月）などを踏まえて、必要に応じて取組方針の見直しも行い、令和2年度には当初の目標期間とした概ね5年が経過した。
- 多くの取組項目が完了しているが、緊急行動計画の改定の項目のうち、一部、未完了の項目や継続して実施すべき避難訓練等の項目が存在した。
- これまでの取組状況や水防災に係る近年の動向を踏まえて、概ね5年（令和3～7年度）に実施する取組を設定した（令和3年5月に改訂）。

平成27年9月 関東・東北豪雨災害（鬼怒川の洪水氾濫）

平成27年12月 社会資本整備審議会答申

「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える必要がある。

平成27年12月 水防災意識社会再構築ビジョン

平成28年 7月13日	第1回 減災対策協議会	『高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会』設立	目標	急激な水位上昇などの河川特性や氾濫水が広範囲に広がる平野部等の氾濫特性などを踏まえ、発生しうる大規模氾濫時において、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す。
			取組方針	1. 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組 2. 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動 3. 浸水を一日も早く解消するための排水対策
平成28年 9月28日	第2回 減災対策協議会	「高津川流域の減災に係る取組方針(案)」策定		
平成29年 5月30日	第3回 減災対策協議会	平成28年度のフォローアップ		
緊急行動計画（平成29年6月20日）平成28年8月、台風10号等の一連の台風による豪雨災害（中小河川の氾濫）を受けて、とりまとめられた委員会の答申（H29.1）を踏まえ、水防法改正に基づく協議会の設置、水害対応タイムラインの作成促進、要配慮者利用施設における避難体制構築への支援、水害危険性の周知促進、防災教育の促進等の32項目をとりまとめた。※H29.12.1 中小河川等治水対策プロジェクトを設立し33項目に追加修正				
平成30年 6月 1日	第4回 減災対策協議会	減災対策協議会を法定化・緊急行動計画への対応（地域の取組方針の見直し）等		
緊急行動計画の改定（平成31年1月29日）平成30年7月豪雨を受けて、とりまとめられた委員会の答申（H30.12）を踏まえ、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築する取組をさらに充実し加速するため、多くの主体の事前の備えと連携の強化の観点等より、2020年（令和2年）度を目途に取り組むべき緊急行動計画を54項目に拡充。				
令和元年 5月30日	第5回 減災対策協議会	平成30年度フォローアップ・緊急行動計画への対応※ 等		※優先すべき検討課題を5項目設定
令和2年 2月13日	第6回 減災対策協議会	平成30年度フォローアップ		
令和2年 5月28日	第7回 減災対策協議会	令和元年度フォローアップ、令和2年度の予定、流域治水プロジェクト 等		
令和3年 2月10日	第8回 減災対策協議会	令和2年度フォローアップ 等		
令和3年 5月31日	第9回 減災対策協議会	今後5か年の取組方針（案）、令和3年度実施方針、フォローアップ 等		
令和4年 2月25日	第10回 減災対策協議会	今後5か年の取組方針の見直し、令和3年度実施方針、令和3年出水期振り返り、フォローアップ 等		
令和4年 6月 3日	第11回 減災対策協議会	令和4年度の予定 等		
令和5年 3月	第12回 減災対策協議会	令和4年度フォローアップ 等		
令和5年 6月	第13回 減災対策協議会	令和5年度の予定 等		
令和6年 3月22日	第14回 減災対策協議会	令和5年度フォローアップ 等		

概ね5年で実施

令和5年度 減災対策協議会の開催状況

平成28年度から取り組んでいる減災に係わる取組方針は当初目標としていた5年が経過したことから、令和3年5月に今後5か年の取組方針として改定しました。

令和5年度は、各関係機関が令和5年度に取り組む対策について共有するため、第1回協議会を令和5年6月に書面開催しました。また、各種対策に対する取組状況を共有するため、第2回協議会を令和6年3月に開催しました。

【第1回協議会】

開催日：令和5年6月

開催方式：書面開催

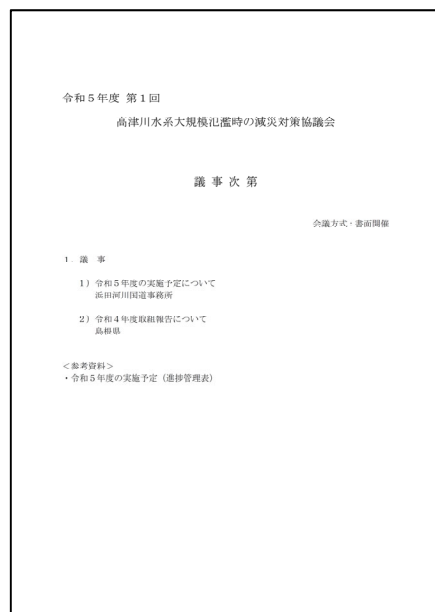
【第2回協議会】

開催日：令和6年3月22日（金）

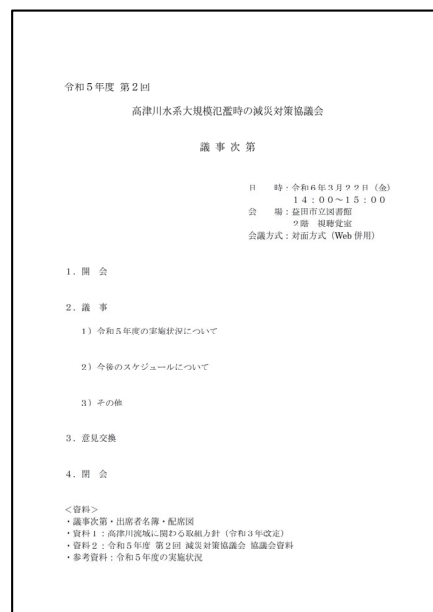
開催方式：対面方式（Web併用）

開催場所：益田市立図書館 2階 視聴覚室

参加機関：松江地方気象台、島根県（防災部、土木部）、益田市、浜田河川国道事務所



第1回協議会 議事次第



第2回協議会 議事次第



第2回協議会の様子

(1) 令和5年度取組状況の報告及びフォローアップについて

(2) 令和6年度取組予定について

(3) 今後のスケジュールについて

（１）令和５年度取組状況の報告及びフォローアップについて

令和5年度の実施状況

- 令和5年度第1回減災対策協議会において、令和5年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、令和5年度の実施予定に対する各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p-9以降に示します。

①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

主な取組項目	取組機関	令和5年度の実施状況
■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備		
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	国交省	・【国交省】危機管理型水位計2か所の更新
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	国交省・ 松江地方気象台	・【気象台】①顕著な大雨に関する気象情報をより早く提供(令和5年5月25日～) ②台風進路予報及び暴風警戒域をより絞り込んで発表(令和5年6月26日～) ・【国交省】①水位表示板の更新・設置箇所を検討、次年度以降に現地対応の予定 ②指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表(令和4年6月13日から継続)
■ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等		
・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供	益田市	・【益田市】①関係部署と連携し、避難確保計画作成後のフォローアップ及び訓練の実施依頼 ②市内小学校の避難訓練指導、③ケアマネジャーに対する支援を実施 ・【気象台】令和5年度の増員により「要配慮者対策係」を新設し、要配慮者への支援を強化 ・【国交省】①出前講座の調整時点で他機関から講座を受講済みであったため、今年度は未実施、来年度に実施予定 ②第1回減災対策協議会において、要配慮者利用施設の避難確保計画作成・活用に関する情報提供を実施
・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	益田市	・【益田市】発令基準や災害時動員体制を再確認
・高津川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	協議会全体	・【益田市】対象企業の選定等に協力 ・【国交省】(株)益田クッキングフーズに水害BCP作成支援に関する概要説明を実施
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配付やまるとまちごとハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施	益田市	・【国交省】高津川左岸(益田市高津町内)の緊急避難場所への設置に向けた浸水深表示板(案)を作成
■ 多様な防災活動を含むタイムラインの作成		
・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し	協議会全体	・【国交省】①高津川水害タイムラインを4回立ち上げ ②出水期前にタイムラインの運用方法等の確認、出水期後に水害タイムラインの運用等についてのアンケートを行い検討会を実施
■ 情報伝達、避難計画等に関する事項		
・洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	協議会全体	・【島根県】県管理河川における情報提供を実施 ・【国交省】出水期前にホットラインの構築状況、タイミングを確認

令和5年度の実施状況

- 令和5年度第1回減災対策協議会において、令和5年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、令和5年度の実施予定に対する各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p-9以降に示します。

①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

主な取組項目	取組機関	令和5年度の実施状況
■ 防災教育や防災知識の普及		
・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	協議会全体	・【益田市】 出前講座での周知等に協力 ・【島根県】 水防情報システムや防災メールにより河川情報を発信 ・【気象台】 ①島根県内市町村防災担当者向けに、「気象防災ワークショップ(土砂災害編・洪水編)」を、web会議により計10回開催し、地域防災力の向上を支援した。(令和5年6月16日～7月3日) ②島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夜刻に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説(異常気象が見込まれる際は、臨時配信) ・【国交省】 Xを活用した防災情報等の発信
・小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実	協議会全体	・【益田市】 出前講座、避難訓練に協力 ・【国交省】 防災出前講座を実施(1/24 高津小学校)
・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	協議会全体	・【益田市】 高津川ワークショップやパネル展開催に協力 ・【島根県】 新聞広報(考える県政)による情報発信 ・【気象台】 「島根県総合防災訓練」において、展示ブースを開設。広く一般住民に向け防災に関する展示・解説を実施し、防災知識の普及・啓発を行った。(令和5年10月29日) ・【国交省】 ①第3回高津川左岸流域治水事業ワークショップを開催し、マイ・タイムラインなどを説明(6/19) ②万葉の里 ひとまろフェスタ来場者を対象に流域治水の取組に関する説明を実施(7/16) ③昭和58年7月豪雨から40年、平成30年7月豪雨から5年のパネル展を商業施設などで開催(7/24～8/20) ④みすみフェスティバルで、流域治水の取組などのパネル展を実施(11/11) ⑤昭和58年7月豪雨から40年に関する新聞広告を作成
・住民一人一人の避難計画・情報マップ(マイ・タイムライン)の作成促進	益田市・島根県・国交省	・【益田市】 出前講座での周知等に協力 ・【国交省】 第3回高津川左岸流域治水事業ワークショップ内(益田市高津町内)で、マイ・タイムラインについて説明(6/19)

令和5年度の実施状況

- 令和5年度第1回減災対策協議会において、令和5年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、令和5年度の実施予定に対する各機関の主な実施状況について報告しています。
- 各機関の具体的な取組状況については、p-9以降に示します。

②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

主な取組項目	取組機関	令和5年度の実施状況
■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化		
・高津川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	益田市・国交省	・【益田市】 合同点検に参加 ・【国交省】 益田市職員・消防本部職員・益田市消防団員と共同で重要水防箇所の現地確認を実施
・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	協議会全体	・【益田市】 各地区訓練時に水防工法等の演習を実施 ・【国交省】 国交省職員・防災エキスパート・コンサルタントと共同で、梅雨時期前に堤防点検を実施
・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における広域的な相互支援方法の確認	益田市・島根県・国交省	・【益田市】 R5.11 令和5年度益田市水防計画策定 ・【島根県】 水防計画による情報共有を実施 ・【国交省】 水防連絡会、洪水予報連絡会、災害情報協議会を開催
・市庁舎の水害時における対応について、業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実	益田市	・【益田市】 機能確保のため庁舎点検等を実施
・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	益田市・島根県・国交省	・【益田市】 樋門操作員等研修会に参加（R5.6.5） ・【国交省】 国交省職員、委託操作員、点検業者を対象とした操作訓練を実施 実施箇所は、奥田排水樋門、神田救急内水排水機場

③浸水を一日も早く解消するための排水対策

主な取組項目	取組機関	令和5年度の実施状況
■ 排水活動に資する基盤等の整備		
・樋門等の修繕計画を作成し、計画的に予算を確保し修繕を実施	益田市	・【益田市】 修繕実施中
■ 排水作業準備計画（案）の作成及び排水訓練の実施		
・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	益田市・国交省	・【国交省】 国交省職員と災害時の対応を行う協力業者で、排水ポンプ車の合同操作訓練を実施

国土交通省
浜田河川国道事務所

マイ・タイムラインの普及促進の講習会の開催

浜田河川国道事務所

項目	住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	
内容	令和5年当初計画	出前講座等において住民への説明を実施
	令和5年実施状況	第3回高津川左岸流域治水事業ワークショップを開催し、マイ・タイムラインなどを説明
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所・益田市	

【実施概要】

- 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の一環で整備した「緊急避難場所」の活用方法等に向けて、高津川左岸側（益田市高津地区）の住民の方々を対象に、6月19日（月）に第3回高津川左岸流域治水事業ワークショップを開催しました。
- このワークショップでは、緊急避難場所の活用方法の他に、高津川の治水事業、かわまちづくりについても説明しました。



第3回ワークショップの様子



説明資料（抜粋）

小学校等を対象とした防災教育の普及

浜田河川国道事務所

項目	小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実	
内容	令和5年当初計画	益田市内の小中学校を対象とした防災教育を引き続き実施
	令和5年実施状況	高津小学校の4年生（56名）に出前講座を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所・益田市	

【実施概要】

- 令和6年1月24日（水）に、益田市立高津小学校の児童（56名）の皆さんに、防災に関する出前講座を行いました。出前講座では、「高津川の概要」「過去の洪水」「河川整備」「避難準備・避難行動」などについて説明しました。
- 要望があった沿川の小学校等を対象に、来年度以降も防災出前講座を順次実施します。

今年度の取組

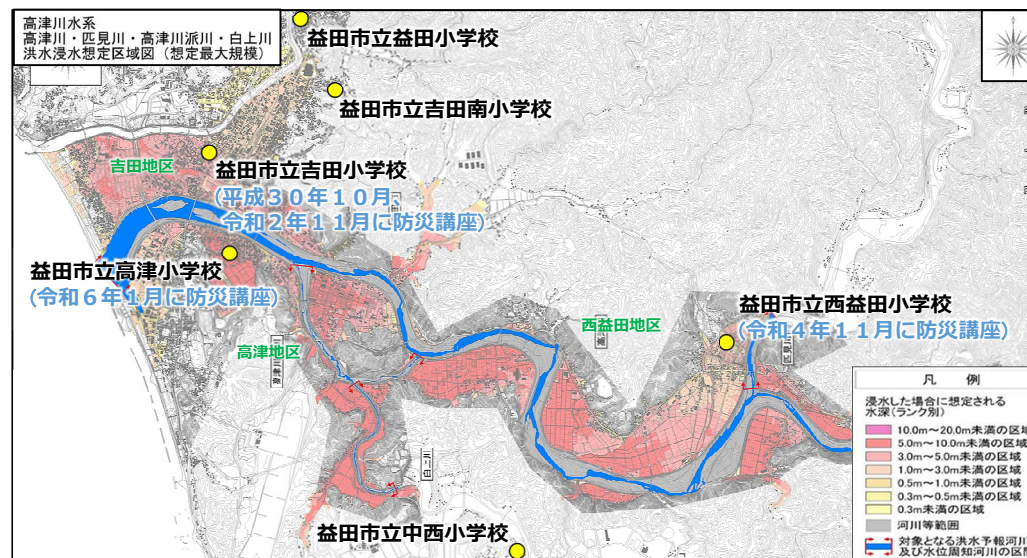


出前講座（座学）の様子

出前講座の感想

- ・ 洪水の時には家族と避難できるよう準備しておきたいと思いました。
- ・ 堤防があることで、川の水が溢れないようになっていたと思っていただけ、そうじゃないという事がわかった。避難するときはちゃんと準備したいです。

来年度の取組予定



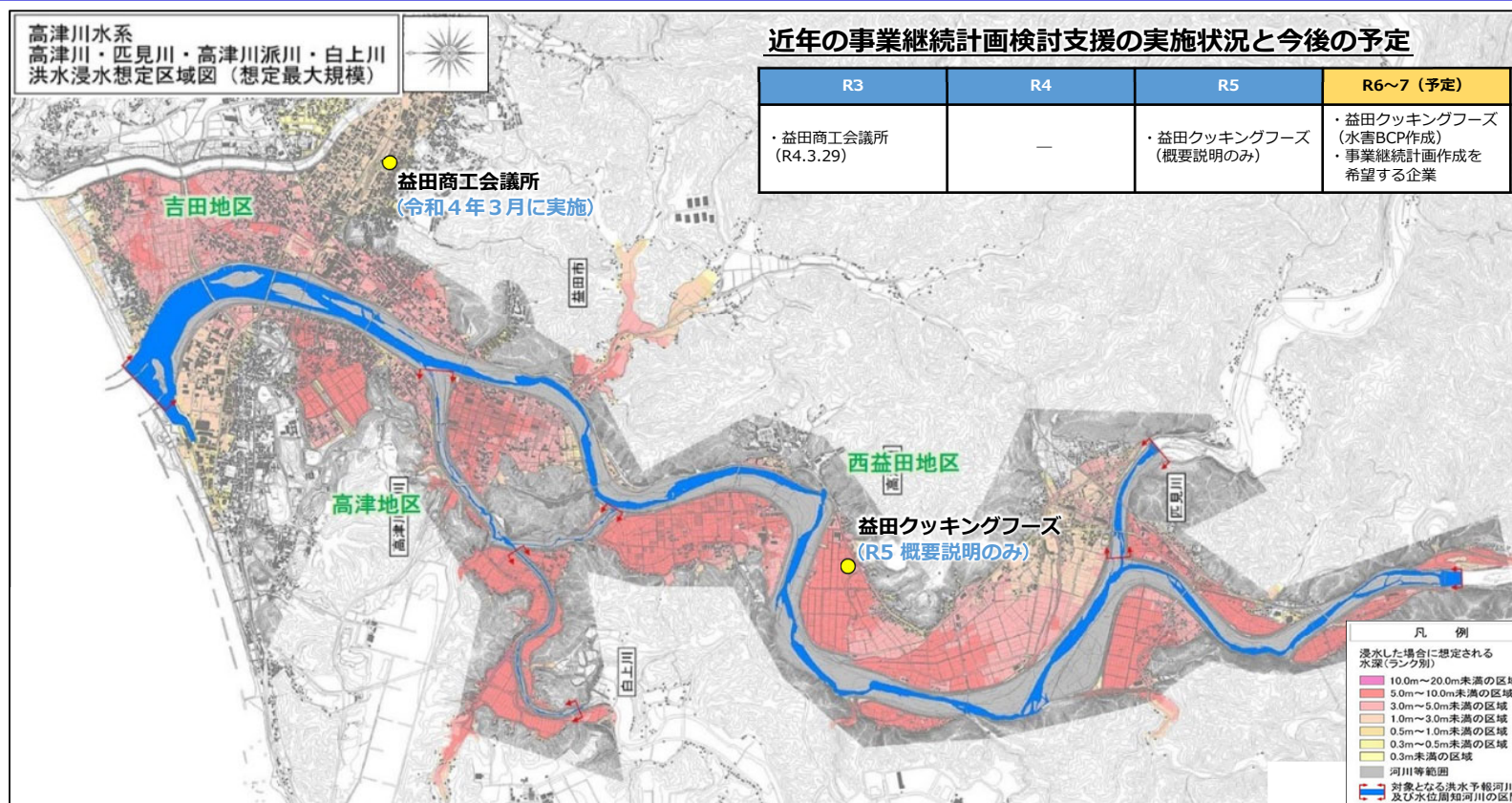
近年の小学校防災教育の実施状況と今後の予定

R3	R4	R5	R6～7（予定）
—	・ 西益田小学校 (R4.11.22)	・ 高津小学校 (R6.1.24)	・ 要望があった小学校等を対象に順次防災教育を実施

項目	高津川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	
内容	令和5年当初計画	高津川流域の商工会議所や企業を対象とした講習会等を実施し、企業(1社)の水害BCP作成支援
	令和5年実施状況	(株)益田クッキングフーズに水害BCP作成支援に関する概要説明を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 令和5年8月31日（木）に、(株)益田クッキングフーズにおいて水害BCP及びその作成支援の概要に関する説明を行いました。
- その他事業継続計画作成を希望する企業を対象に、来年度以降もセミナー等を通して事業継続計画の検討支援を実施します。



項目	洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内容	令和5年当初計画	危機管理型水位計の更新予定
	令和5年実施状況	危機管理型水位計2か所の更新
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

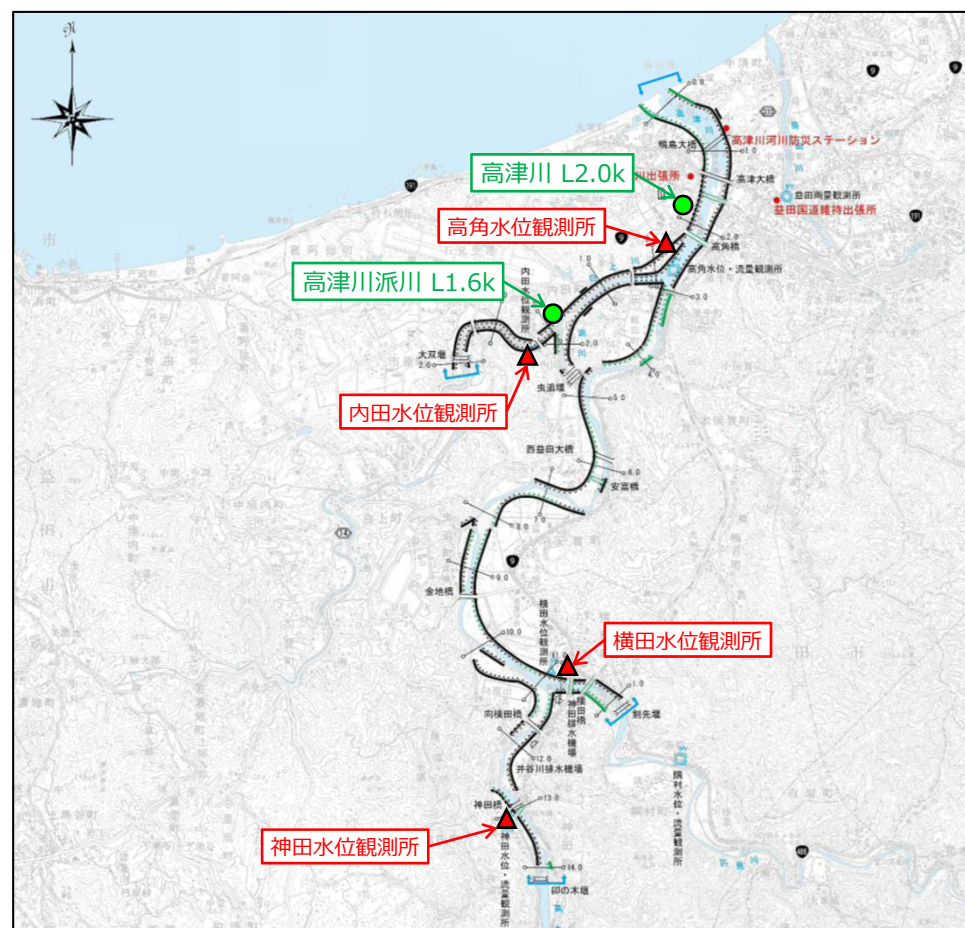
○出水時の洪水リスクを正確に把握できるようにするため、危機管理型水位計2か所の更新を行いました。

凡 例

L：左岸

▲：水位観測所（基準）

●：危機管理型水位計（更新）



危機管理型水位計の設置平面図

項目	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配付やまるごとまちごとハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施	
内容	令和5年当初計画	益田市におけるまるごとまちごとハザードマップの設置箇所案などを引き続き検討
	令和5年実施状況	高津川左岸（益田市高津町内）の緊急避難場所への設置に向けた浸水深表示板（案）を作成
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所・益田市	

【実施概要】

- 令和5年5月に竣工した高津川左岸（益田市高津町内）の緊急避難場所に設置する浸水深表示板（案）を作成しました。
- 浸水深表示板は、平時から高津町周辺の住民に、緊急避難場所付近の浸水リスクを周知・普及することを目的に設置します。



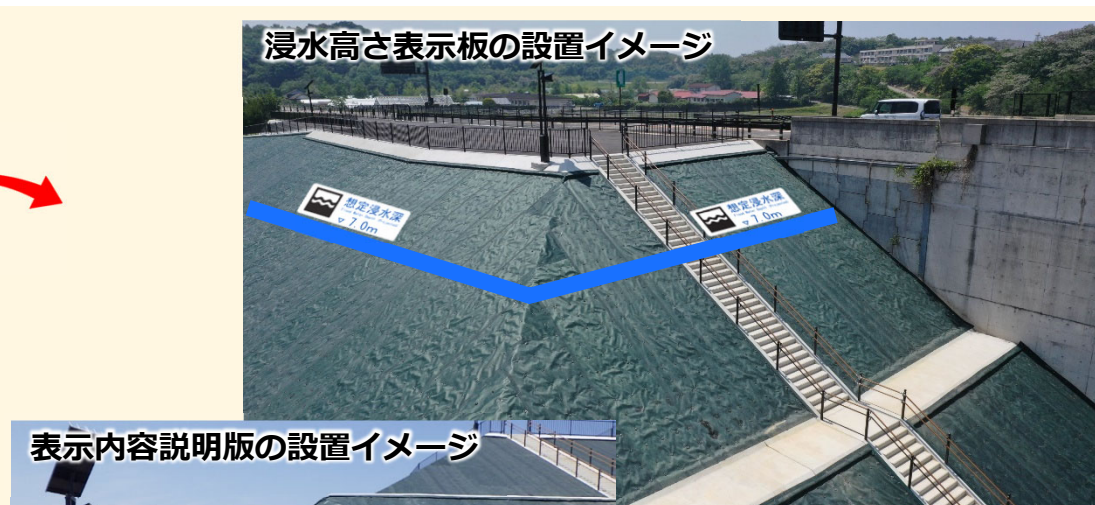
緊急避難場所に設置する浸水深表示板（案）



表示内容説明版



浸水高さ表示板



Xを活用した災害情報等の発信・収集

浜田河川国道事務所

項目	「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	
内容	令和5年当初計画	水害リスクライン等の活用促進のための周知や二次元コード、SNS（X）の有効活用
	令和5年実施状況	Xを活用した防災情報等の発信
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

○ 浜田河川国道事務所の公式Xを運用し、事務所が管轄する河川や道路の情報発信・情報収集を行いました。

公式Xのアカウント



パネル展に関するXの投稿



ひとまるフェスタに関するXの投稿



項目	住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	
内容	令和5年当初計画	出前講座等において住民への説明を実施
	令和5年実施状況	万葉の里 ひとまるフェスタ来場者を対象に、流域治水の取組に関する説明を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 7月16日（日）に開催された万葉の里 ひとまるフェスタにおいて、パネルや模型を用いた流域治水に関する展示を行いました。訪れた方には、流域治水の模型による説明や降雨体験機を用いた豪雨体験などをしていただきました。



パネル展示の様子

模型を用いた
流域治水の実演



模型を用いた説明の様子



降雨体験の様子

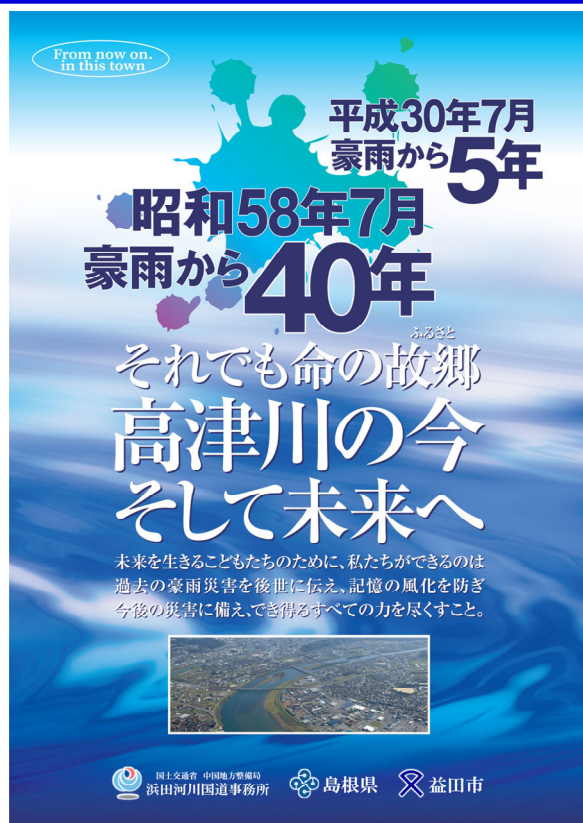
パネル展の開催（広報）

浜田河川国道事務所

項目	住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	
内容	令和5年当初計画	出前講座等において住民への説明を実施
	令和5年実施状況	昭和58年7月豪雨から40年、平成30年7月豪雨から5年のパネル展を商業施設などで開催
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所・島根県・益田市	

【実施概要】

- 令和5年は、昭和58年7月豪雨から40年、平成30年7月豪雨から5年の節目にあたり、災害の記憶の風化を防ぎ、過去の豪雨災害を後世に伝えるため、令和5年7月24日（月）から8月20日（日）まで高津川流域の自治体施設や商業施設でパネル展を開催しました。



パネル表紙



被災写真



ゆめタウン益田



益田県土整備事務所

パネル展の開催（広報）

浜田河川国道事務所

項目	住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	
内容	令和5年当初計画	出前講座等において住民への説明を実施
	令和5年実施状況	みすみフェスティバルで、流域治水の取組などのパネル展を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 11月11日（土）に浜田市三隅町で開催されたみすみフェスティバル2023において、昭和58年7月豪雨から40年、平成30年7月豪雨から5年に関する広報パネルを展示しました。



展示パネルを観覧する様子

展示パネルに関する説明をする様子

新聞広告による広報

項目	住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	
内容	令和5年当初計画	出前講座等において住民への説明を実施
	令和5年実施状況	昭和58年7月豪雨から40年に関する新聞広告を作成
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 令和5年は、昭和58年7月豪雨から40年の節目にあたり、災害の記憶の風化を防ぎ、過去の豪雨災害を後世に伝えるため、当時の被災状況や被災後の治水事業に関する新聞広告を作成しました。

[illegible]

重要水防箇所の確認

浜田河川国道事務所

項目	高津川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	
内容	令和5年当初計画	合同点検等を実施
	令和5年実施状況	益田市職員・消防本部職員・益田市消防団員と共同で重要水防箇所の現地確認を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所・益田市	

【実施概要】

- 11月27日（月）に、次期出水期に向け高津川右岸0k600付近の重要水防箇所について、浜田河川国道事務所・益田市・消防本部・地元消防団と合同で現地確認を行いました。



概要説明の様子



現地確認の様子

堤防点検の実施

浜田河川国道事務所

項目	水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	
内容	令和5年当初計画	国交省職員を講師とした講習会を実施
	令和5年実施状況	国交省職員・防災工エキスパート・コンサルタントと共同で、梅雨時期前に堤防点検を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 5月9日（火）に、高津川国管理区間内において、国土交通省職員・防災工エキスパート・コンサルタント業者と合同で、堤防点検を行いました。点検した12か所で、出水期前までに緊急的に補修が必要な箇所はありませんでした。



堤防点検の様子

樋門、排水機場の操作説明会

浜田河川国道事務所

項目	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	
内容	令和5年当初計画	樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施
	令和5年実施状況	国交省職員、委託操作員、点検業者を対象とした操作訓練を実施 実施箇所は奥田排水樋門、神田救急内水排水機場
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

○11月13日（月）に、奥田排水樋門において、国土交通省職員、委託操作員と合同で樋門操作訓練を実施しました。
また5月10日（水）に、前線や台風による大雨に備え、国土交通省職員、委託操作員、点検業者と合同で、神田救急内水排水機場の操作訓練を実施しました。操作訓練では、操作手順の確認、実操作、意見交換等を行いました。



神田救急内水排水機場の様子

項目	排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	
内容	令和5年当初計画	排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施及び訓練を踏まえた見直し
	令和5年実施状況	国交省職員と災害時の対応を行う協力業者で、排水ポンプ車の合同操作訓練を実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

- 令和5年4月21日（金）に、高津川での洪水発生に対して迅速な対応ができるよう、高津川左岸0k600付近で高津川維持工事業者や災害対応を行う業者、災害対策用機械の点検業者、国土交通省職員が合同で排水ポンプ車の操作訓練を行いました。



操作訓練に用いた排水ポンプ車



ポンプの吐口を設置する様子

自然災害伝承碑を活用した取組の推進

浜田河川国道事務所

- 自然災害伝承碑とは、過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメントです。
- 過去の自然災害に関する石碑やモニュメントなどを地形図等に掲載することにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指すもので浜田河川国道事務所管内の自然災害伝承碑を整理しました。
- 具体的な場所は、下記のURLから確認可能です。

国土地理院：自然災害伝承碑、<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

水訓

災害名：昭和58年7月豪雨
昭和60年7月豪雨



放光尊形報恩碑

災害名：洪水・土砂災害
(1564年9月8日)



川平町 田の原地区 土地利用 一体型水防災事業竣工記念碑

災害名：洪水(1972年、
1983年、1999年、2006年、
2018年、2020年、2021年)



復興感謝

災害名：昭和47年7月豪雨
(1972年7月12日)



今田井堰・耕地・水門 復旧記念碑

災害名：洪水
(1943年、1944年、1945年)



三島堤防完成記念碑

災害名：昭和47年7月豪雨
(1972年7月12日)



益田川災害復旧竣工記念碑

災害名：昭和58年7月豪雨
(1983年7月23日)



家古屋川竣工記念碑

災害名：昭和63年7月豪雨
(1988年7月15日)



日貫川竣工記念碑

災害名：昭和58年7月豪雨
(1983年7月23日)



浜田河川国道事務所管内
自然災害伝承碑マップ

設置数

江の川(下流) 1 基
高津川(益田川含む) 6 基

※赤枠：令和5年度追加
(水系内に9基)



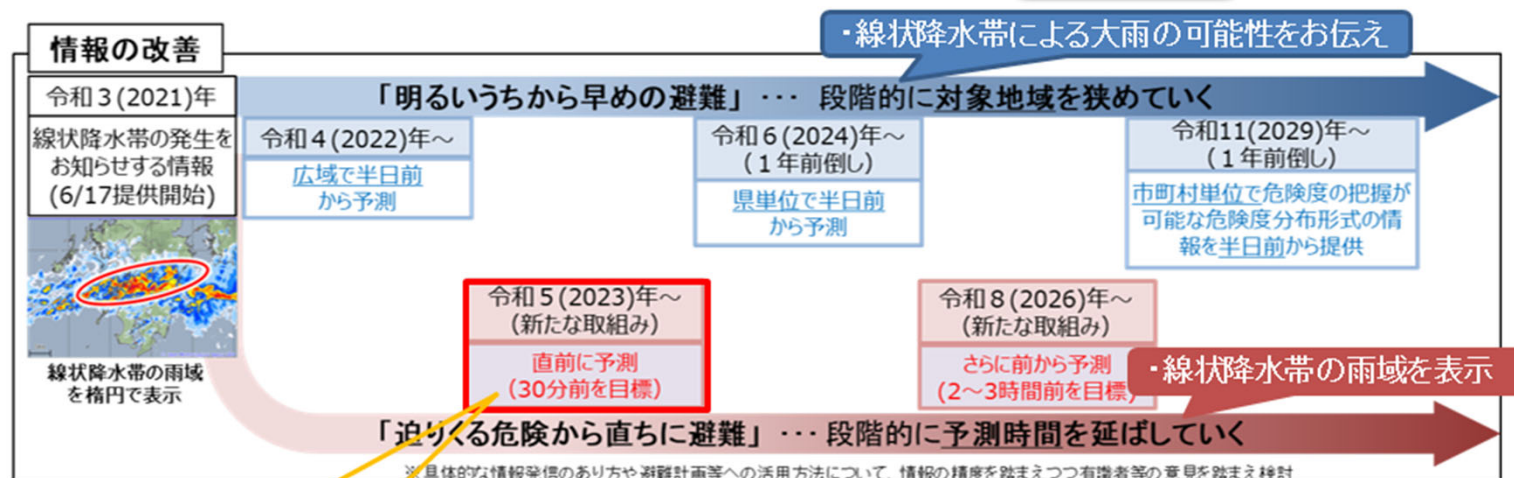
松江地方気象台

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和5年度実施）

顕著な大雨に関する気象情報を、より早く提供

令和5年
5月25日～



「顕著な大雨に関する気象情報」の発表

現在:線状降水帯の発生 改善後:現在より30分程度早く、全自動で発表
予測技術を活用し、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指す。

顕著な大雨に関する〇〇県気象情報 第1号

令和5年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇気象台発表
(見出し)

これまでの情報文と同じ

〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。
命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

(本文)

なし

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善（令和5年度実施）

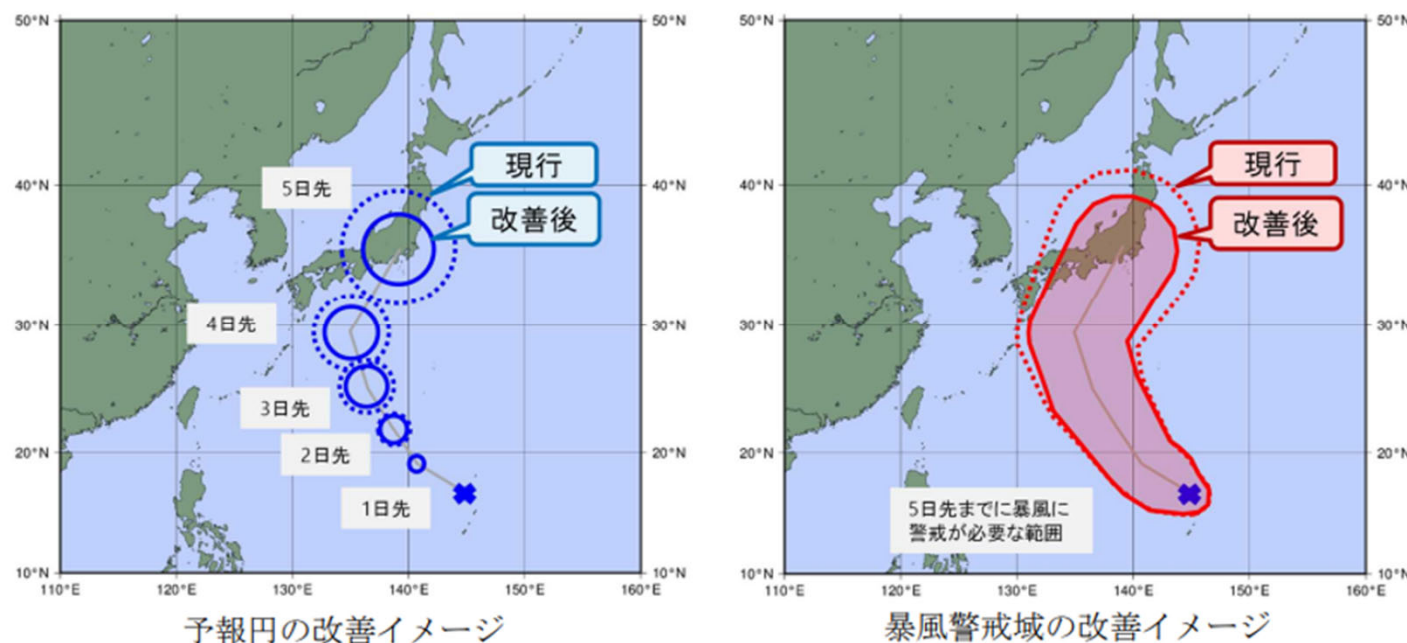
台風予報円及び暴風警戒域をより絞り込んで発表

令和5年
6月26日～



- 数値予報技術等の改善により台風進路予報の精度が向上していることを踏まえ、台風進路予報の予報円の大きさ及び暴風警戒域を現在よりも絞り込んで発表するよう改善
- 特に、3日先以降の予報円が大きく改善し、5日先の予報円の半径はこれまでと比べて最大40%小さくなる

予報円・暴風警戒域の改善イメージ
(令和元年東日本台風の例)



■洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画
作成・訓練実施の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供

自治体支援の強化



< 新たに配置された4つの役割 >

①気象情報基準評価係

特別警報・警報基準の見直し



各市町村の地域ごとの災害特性に即した大雨特別警報等の基準値の設定・運用・検証・改善

②流域治水対策係

流域治水協議会等への対応



流域治水協議会に参画し、各河川流域の災害特性に特化した気象資料の提供や技術的助言

③要配慮者対策係

高齢者や障がい者の避難に関する計画作成等の支援対応



要支援者の避難に関する計画策定への助言や内容を特化した普及啓発

④リスクコミュニケーション推進官

多様な分野のリスクコミュニケーションを推進

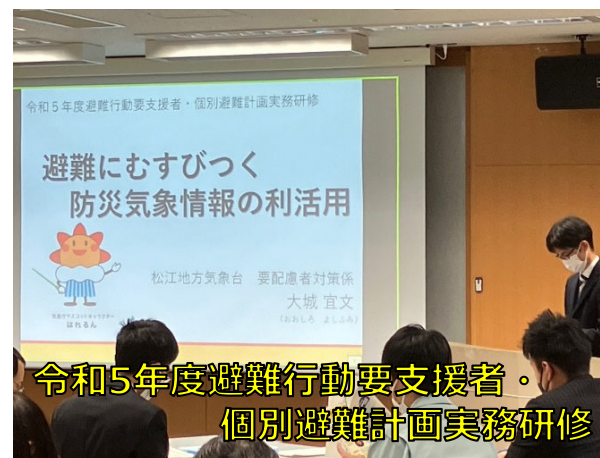


情報受け手側との対話を通じて、情報発信の改善や防災意識向上の取組

< 要配慮者対策係による講演 >



松江市社会福祉協議会



令和5年度避難行動要支援者・個別避難計画実務研修

■「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

地域防災支援の強化—あなたの町の予報官（担当チーム）の取組



平時

- ・市町村等との「顔の見える関係」構築・深化
- ・災害リスクや情報利活用の研修・演習
- ・防災計画や避難情報の判断・伝達マニュアル等への助言
- ・関係機関等との連携した取組

緊急時

- ・記者会見による呼びかけ
- ・ホットラインによる首長への助言
- ・J E T T（気象庁防災対応支援チーム）の派遣

災害後

- ・自治体等と共同で「振り返り」を実施

「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務を強化

・島根県を複数の市町村からなる3つの地域に分け、地域毎の災害特性を踏まえた地域専任の担当チーム「あなたの町の予報官」を編成。担当チームの常設により、各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築し、さらに深化させていきます。

【松江地方気象台の担当チーム編成】

松江・出雲・雲南
チーム



隠岐・県央
チーム



浜田・益田
チーム



積極的にJ E T Tを派遣



【島根県災害対策本部会議へ派遣】

令和3年は、7月に梅雨前線、8月には台風第9号と停滞前線により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、島根県災害対策本部会議に職員を派遣、常駐して、気象解説を実施しました。令和3年度の派遣は17事例。

気象防災ワークショップの推進



【Web会議で隠岐合同のワークショップ開催】

県内自治体防災担当職員を対象に、気象情報の利用方法などをより理解していただき、防災対応能力の向上を目的として、土砂災害編、水害対策編の気象防災ワークショップをWeb会議ツールを用いて実施しました。令和3年度までに18市町村で実施。令和4年度は出水期前に実施しました。

「振り返り」の業務改善への活用

- ・災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック

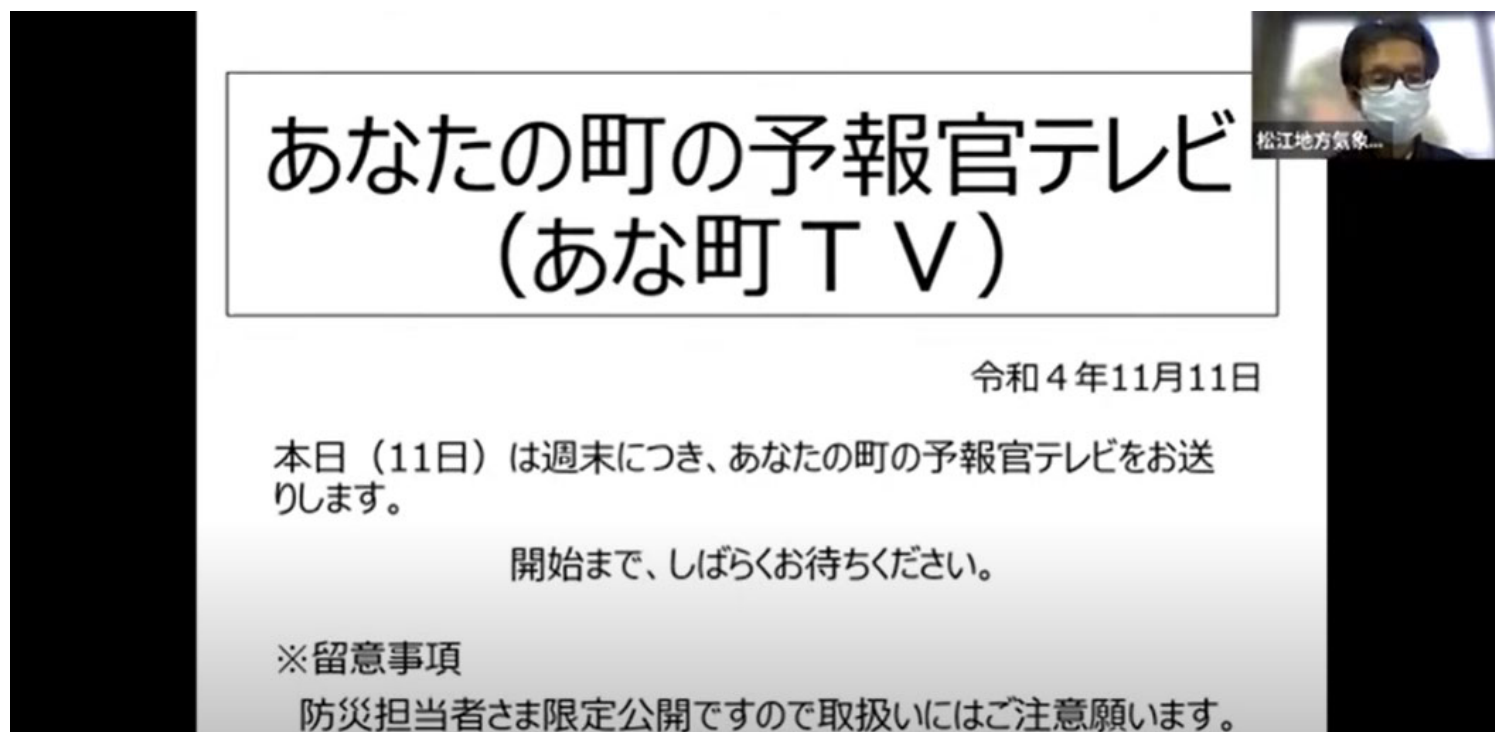


令和3年は、梅雨前線や台風等により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、県内全市町村担当者と共同で、振り返りを実施し、避難状況や活動を把握するとともに気象台への提案やニーズについて意見交換を実施しました。

※あな町TV = 気象台による防災気象情報の解説（Web）

- 「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

あなたの町の予報官テレビ（R6年度も継続実施）



あなたの町の予報官テレビ
(あな町TV)

令和4年11月11日

本日（11日）は週末につき、あなたの町の予報官テレビをお送りします。

開始まで、しばらくお待ちください。

※留意事項
防災担当者さま限定公開ですので取扱いにはご注意願います。

市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官テレビ」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夜方に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説（警報級の現象が見込まれる際は、随時配信）。

併せて平日は、毎日16時に「**防災メール**」を配信し、きめ細かく防災対応を支援。

- 「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

市町村防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催

(R6年度も継続実施)



【場面1】

【検討】 30日 5:19

残り時間 10 5 3

入手した「防災気象情報」等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- ① すぐに「警戒レベル3、高齢者等避難」を発令する必要があるか。
 - 検討結果を町長に説明することを想定して、理由も整理しておいてください。
- ② 今後どのような情報に特に注意するか？

検討結果を、ワークシートに記入してください。
(検討時間10分)

「zoom」による実際のWeb共有画面

- ・土砂災害・洪水災害が発生するおそれがある状況を想定し、気象台等から発表される様々な情報を参照しながら、グループワークを実施。
- ・各種防災気象情報への理解・有効活用とともに、体制強化や避難情報発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学んでいただくことによって地域防災対応力の向上を支援。

- 住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施、堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施

「島根県総合防災訓練」において 展示ブースを開設



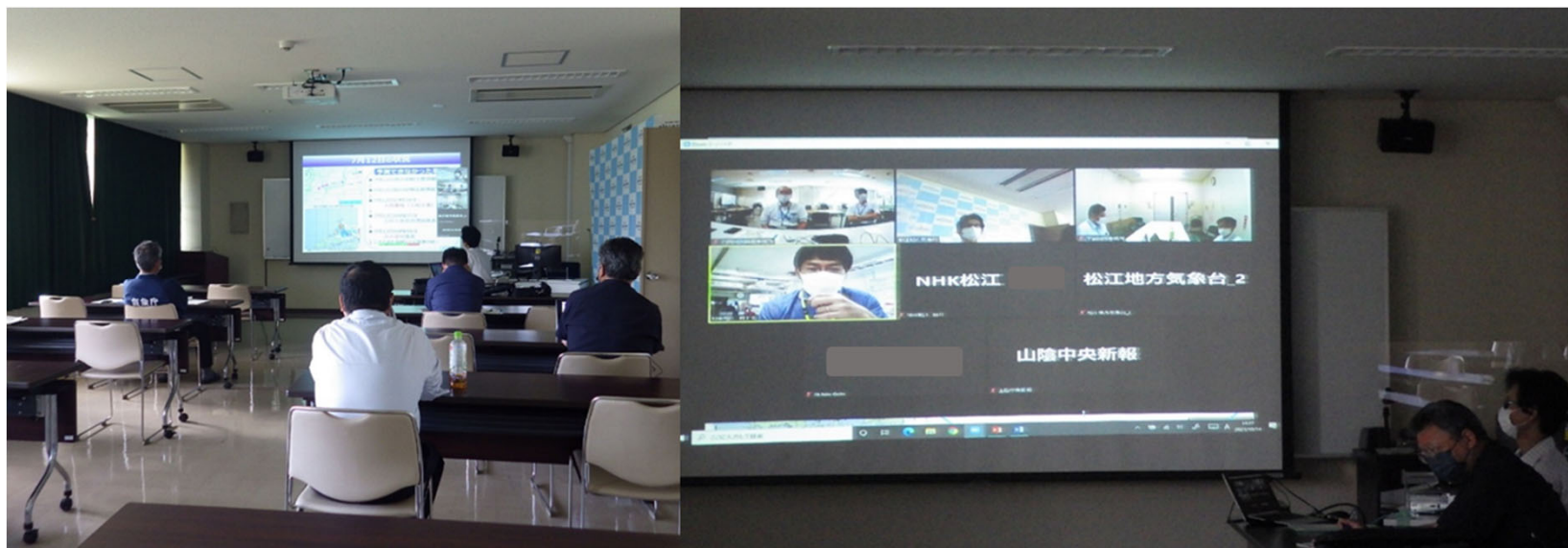
10月29日に安来市で開催された「島根県総合防災訓練」に参加 広く一般住民に向け防災に関する展示・解説を実施

- ・ 雨量計のカットモデルを展示し、構造・観測原理等を説明。
- ・ 気象庁が発表する様々な防災気象情報について、説明パネルを掲示。
パンフレットを配布し、防災知識の普及・啓発を行い、住民の防災意識向上に寄与。

■報道機関との連携

報道機関との懇談会を定期的に開催

- ・ Web会議ツール「Zoom」を利用した「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催
- ・ 水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
- ・ Web開催により 放送局・新聞社等広域かつ多数の機関を同時に結んだ効果的・効率的な連携を実現
- ・ 雪害等もテーマに、出水期に限らず通年で開催



【開催実績と気象台からの話題提供】

- 第6回 令和5年 7月 7日「二重偏波気象レーダーについて」「『顕著な大雨に関する気象情報』の新たな運用について」
第7回 令和5年11月30日「冬期気象状況の経年変化、予想される冬の天候、雪に関する気象情報について」

島根県

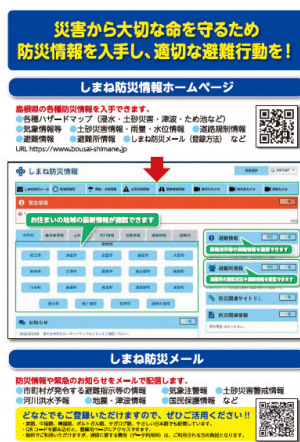
防災情報の周知徹底

島根県（防災危機管理課）

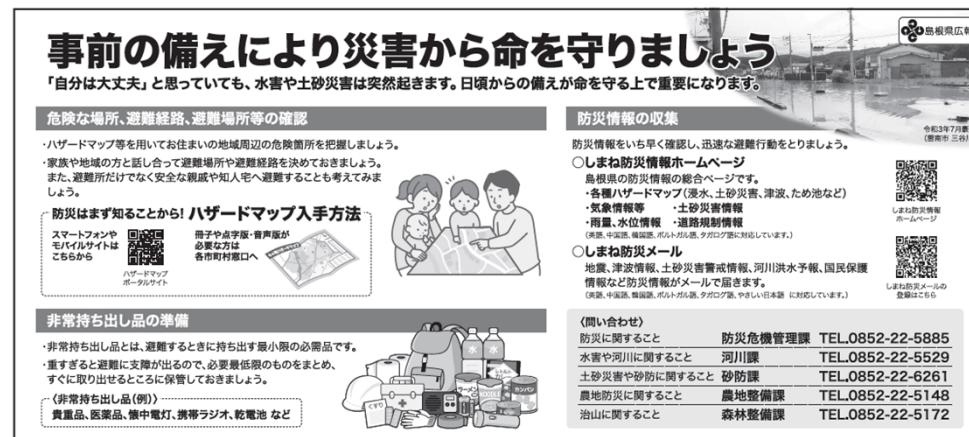
■防災情報の周知徹底

<令和6年度も継続して実施予定>

◆チラシ 島根県情報コーナーへの配架など



◆考える県政 令和5年6月3日



出典：令和5年6月3日 山陰中央新報「考える県政」

◆防災に関する展示

令和5年8月30日～9月5日
県庁1階ロビー



令和5年6月2日～7月5日
県立図書館1階ロビー



◆島根県総合防災訓練

防災展示コーナーを開設し、各防災関係機関による住民への防災啓発を実施

令和5年10月29日
中海ふれあい公園（安来市）



■地域防災力向上のための人材育成

<令和6年度も継続して実施予定>

【令和5年度 避難行動要支援者・個別避難計画実務研修】

1. 日 時 令和5年12月4日（月）松江テルサ 大会議室 ほかにテレビ会議
令和5年12月5日（火）いわみーる 401研修室 ほかにテレビ会議
2. 受講者 市町村職員、社会福祉協議会、自主防災組織、民生委員等 約80名
3. 内 容 講義「避難にむすびつく防災気象情報の利活用」「医療的ケア児の災害支援」「難病患者の災害支援」、
県内市町村による事例紹介、意見交換会（グループワーク）
4. 講 師 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 西野事務局長 ほかに

【令和5年度 島根県自主防災組織リーダー研修】

1. 日 時 令和5年11月25日（土）～26日（日）
2. 場 所 島根県松江合同庁舎 2階講堂
3. 対 象 自主防災組織構成員、自治会関係者、防災士など 合計33名
4. 内 容 事例発表、洪水・土砂災害に関する講義、男女共同参画の視点で考える防災、
災害史に関する講義、まちあるき・災害図上訓練 ほかに
5. 講 師 静岡大学防災総合センター 牛山教授、山口大学大学院 瀧本准教授 ほかに



【令和5年度 島根県防災士養成研修】

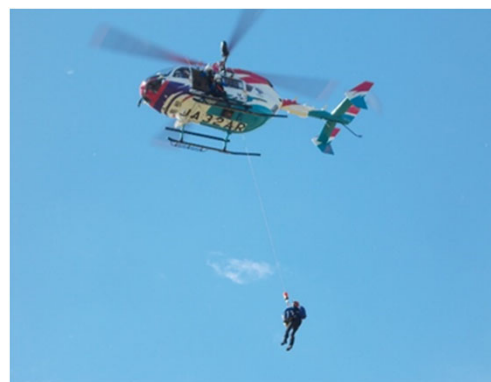
1. 日 時 <第1回> 令和5年6月3日（土）～4日（日）
<第2回> 令和5年11月11日（土）～12日（日）
2. 場 所 島根県職員会館 2階多目的ホール
3. 受講者 <第1回> 70名 / <第2回> 61名 合計131名
4. 内 容 防災に関する各種講義、救急救命講習、防災士資格取得試験
5. 講 師 NPO法人日本防災士会 宮永理事 ほかに



益田市

《益田市防災訓練》

実施日時：令和5年10月22日（日）8：00～11：15
 実施場所：益田市立中西小学校
 訓練想定：地震発生による住民参加型避難訓練
 参加機関：益田市、益田警察署、益田広域消防本部、益田市消防団女性分団、島根県防災航空隊、日本赤十字社、西日本電信電話、社会福祉協議会
 実施内容：1. 情報伝達訓練、避難訓練
 2. 体験型訓練、公開訓練、消火訓練
 3. 避難所開設・運営訓練
 参加人数：約377名



《防災講座等実施状況》

日時	実施主体	実施内容
5月10日	益田医師会訪問看護ステーション	防災講習
6月10日	吉田地区	防災協議会
6月18日	吉田地区	合同防災訓練
7月2日	野坂自主防災組織	防災講習
7月30日	人権センター	災害時外国人サポーター養成研修
9月27日	津田さざなみ会	防災研修
10月17日	人権センター	HUG研修
10月29日	横野地区	防災広報
11月5日	明見団地自主防災連合体	防災広報
11月20日	三宅自治会	益田市防災備蓄倉庫見学会
12月8日	益田高校	エコノミークラス症候群の対策
1月25日	益田養護学校	防災指導

（２）令和６年度の取組予定について

浜田河川国道事務所

令和 6 年度の主な取組支援

○令和 6 年度は、避難行動の目安となる取り組みを主として、以下の取組を実施・支援する。

	令和 6 年度の主な取組支援
1	マイ・タイムラインの普及促進の講習会の開催
2	小中学校を対象とした防災教育の普及
3	民間企業における事業継続計画検討支援
4	危機管理型水位計の更新

マイ・タイムラインの普及促進の講習会の開催

浜田河川国道事務所

項目	住民一人一人の避難計画・情報マップ（マイ・タイムライン）の作成促進	
内容	令和6年当初計画	高津川流域の地域からの要望も踏まえて講習会等によるマイ・タイムラインの作成支援を実施予定 マイ・タイムライン講習会の実施に向けた広報活動を事務所SNSを活用し実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

『マイ・タイムライン作成支援ツール』

自治会長や自主防災リーダー等が主体となって地域のマイ・タイムライン作成を推進するための支援ツールを作成している。

<広報・解説動画>



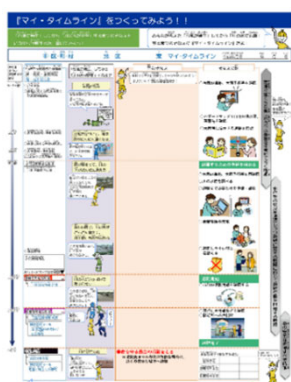
<逃げキッド>



<作成ヒント集>



<マイ・タイムラインシート>



<講習会資料>



<講師用手引き>



今年度の実施予定(案)

【目的】 高津川水系における「逃げ遅れゼロ」を実現するために、島根県・流域市町と連携してマイ・タイムライン講習会を開催する。また、自治会長や自主防災リーダー等が主体となって、地域のマイ・タイムラインを作成する取組みを推進する。

スケジュール

マイ・タイムライン講習会の実施(1自治体1地区以上を予定)

- ・ SNSを活用した広報の実施
- ・ 防災に関心のある自治会や防災士会等におけるマイ・タイムライン講習会の実施要望があれば、浜田河川国道事務所までご連絡をお願いします。

講習会参加者を対象とした防災意識アンケート調査の実施

マイ・タイムラインの作成促進に向けた課題等の把握

『マイ・タイムライン作成支援ツール』の更新

- ・ 広報、解説動画
- ・ 逃げキッド、作成ヒント集、マイ・タイムラインシート
- ・ 講習会資料
- ・ 講師用手引き

高津川流域におけるマイ・タイムライン作成促進

小中学校を対象とした防災教育の普及

浜田河川国道事務所

項目	小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実	
内容	令和6年当初計画	益田市内の小中学校を対象とした防災教育を引き続き実施
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

過年度の事例

＜過去5か年における防災教育の実施状況＞

	高津川
平成30年度	・吉田小学校
令和元年度	—
令和2年度	・吉田小学校
令和3年度	—
令和4年度	・西益田小学校
令和5年度	・高津小学校

＜益田市立高津小学校での事例＞

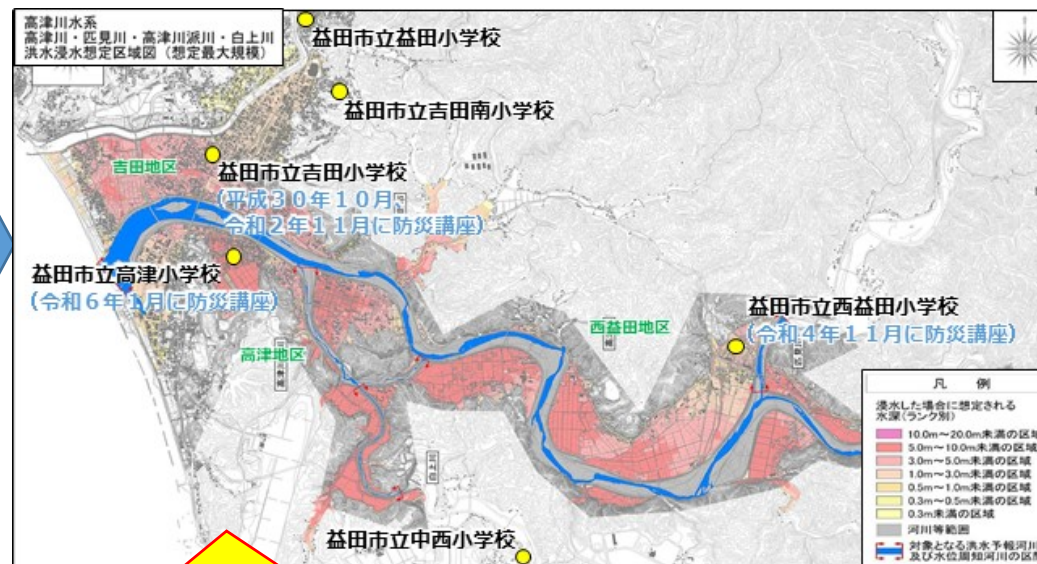
令和6年1月に益田市立高津小学校で出前講座を実施しました。出前講座では、「高津川の概要」「過去の洪水」「河川整備」「避難準備・避難行動」などについて説明しました。



座学の様子

今年度の実施予定(案)

- 要望のある小中学校において防災出前講座を実施予定です。
- 講座内容の充実化のために、島根県・流域市町と協力して取組みを進めていきます。



現時点で、**小中学校から防災教育の実施に関する要望**のある自治体があれば、浜田河川国道事務所までご連絡をお願いします。

民間企業における事業継続計画検討支援

浜田河川国道事務所

項目	高津川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	
内容	令和6年当初計画	高津川流域の商工会議所や企業を対象とした講習会等を実施し、企業（1社）の水害BCP作成支援（株）益田クッキングフーズに水害BCP作成支援を引き続き実施予定
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

今年度の実施予定（案）

＜講習会等の資料イメージ＞

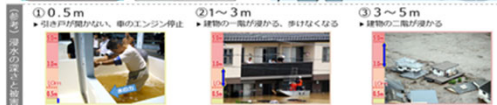
立地適正評価

STEP①ハザードを知る

①外から確認



②中から確認



被害想定イメージ

STEP②被害程度を知る

		浸水被害想定
ヒト	従業員の生命・安全	大雨時には早期休業により人命被害なし
	従業員の家族の生命・安全	浸水区域内に居住する従業員家族の危険性がある
モノ	輸送トラック	敷地内に確保している全車両の浸水被害が想定される
	商品、在庫、原材料等	浸水深●mが想定されるため、商品、原材料等の浸水被害が想定される
	機械設備、加工機器等	浸水深●mが想定されるため、機械設備、加工機器等のほとんどの浸水被害が想定される
	機械設備	床から浸水深●m以下に設置している検査用の機器等の浸水被害が想定される
	商品、在庫、原材料等	床から浸水深●m以下に保管している顧客商品等の浸水被害が想定される
	契約書等の重要書類	浸水深より高い棚に保管しているため被害なし
カネ	運転資金	指定銀行に預けているため被害なし
情報	コンピューター	コンピューターは建物2階にあるため被害なし
	サーバー・データ	コンピューターは建物2階にあるため被害なし

BCP作成支援のフロー

STEP1 予測

ハザードを知る

・立地特性評価

STEP2 予測

被害程度を知る

・被害想定
・リスク評価

STEP3 予防

水害に備える

・課題の整理
・対策の検討
・対策実現可能性の評価

STEP4 対応

水害に対応する

・BCPの検討

経営資源の課題例

STEP③水害に備える （課題の整理）

業務資源	課題例
人	社員の安全は確保できるか？何人出社できるか
施設	建物は引き続き業務で使用できるか。
設備	機械・設備は移動、破損しないか。
原材料・サプライヤー	重要な原材料は入ってくるのか。（代替不可能なサプライヤーはないか）
交通インフラ	道路・鉄道・空港・港湾は機能するのか。
ライフライン	電気・上下水道・通信の被災（停止）は、地震後の対応は大丈夫か。目標復旧時間に影響しないか（影響する場合の事前の備えは）
システム、データ	サーバーは安全か。
お金	手持ちの資金だけで復旧はできるのか。

水害発生後の行動内容（例）

STEP④BCPの検討



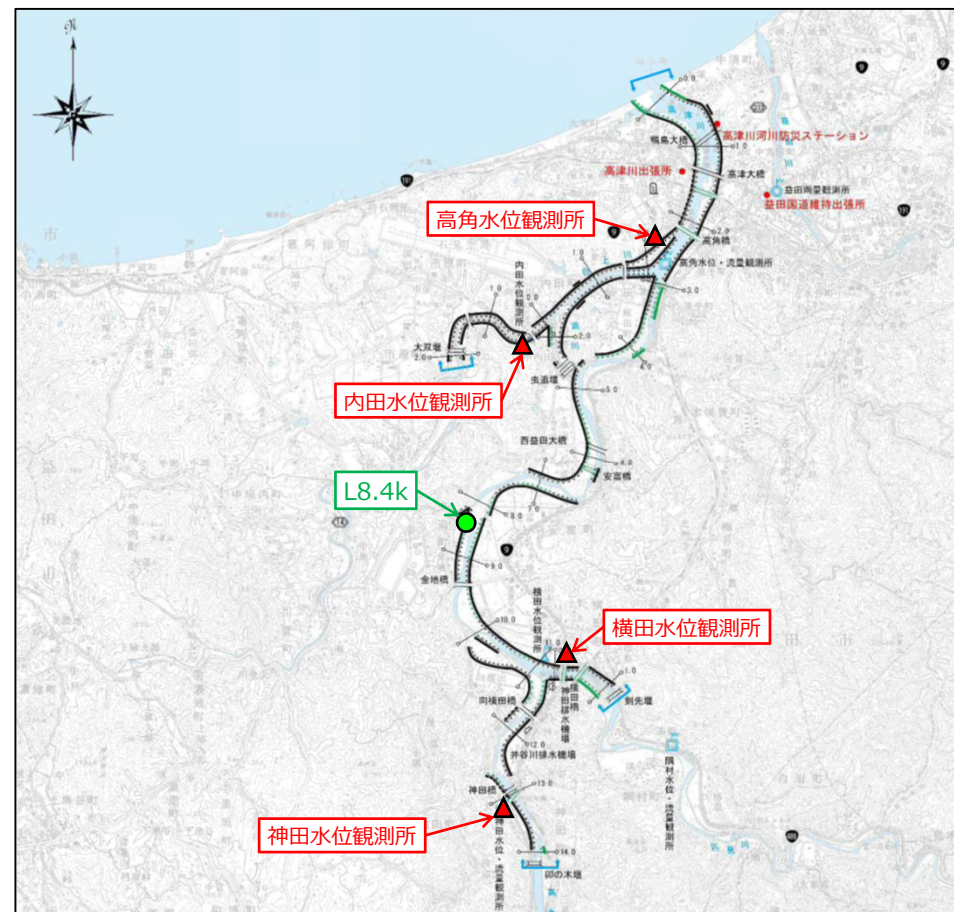
BCP作成希望の企業をご存知の自治体があれば、浜田河川国道事務所までご連絡をお願いします。

項目	洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内容	令和6年当初計画	危機管理型水位計の更新予定
取組機関	国土交通省浜田河川国道事務所	

【実施概要】

○高津川水系では、危機管理型水位計1箇所の更新予定です。

凡 例
 L：左岸、R：右岸
 ▲：基準観測所
 ●：危機管理型水位計（更新）



危機管理型水位計の更新平面図

松江地方気象台

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

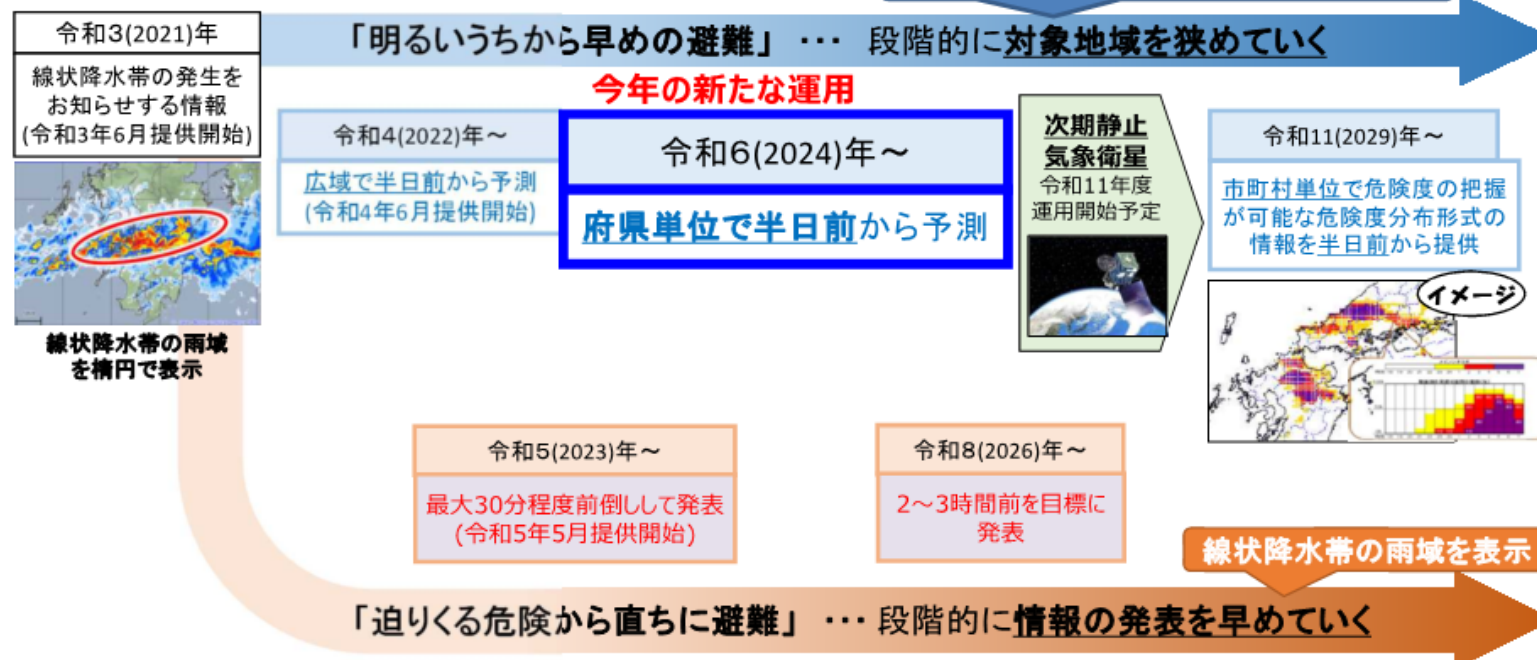
○防災気象情報の改善

線状降水帯による大雨について半日程度前から**府県単位**での呼びかけを開始

観測や予測の強化の成果を順次反映し、令和4年6月より、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、令和5年5月より、「顕著な大雨に関する気象情報」（線状降水帯の発生をお知らせする情報）をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。

令和6年5月28日からは、令和4年度から開始した半日程度前からの呼びかけを府県単位で実施。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

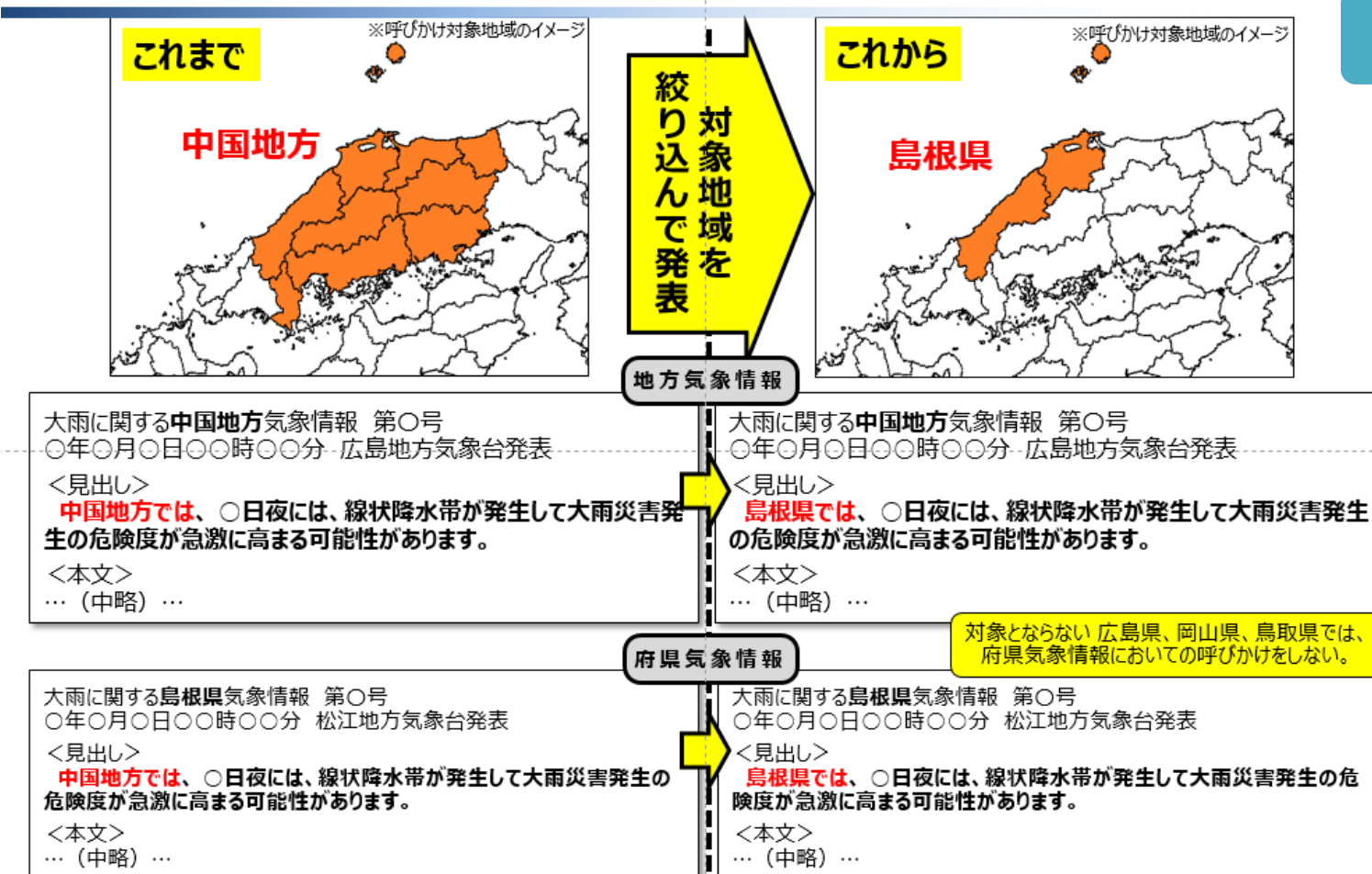
国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

○防災気象情報の改善

令和6年から開始する半日前からの府県単位での呼びかけ（地方／府県気象情報）

令和6年
5月28日



■洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供

自治体支援の強化



< 新たに配置された4つの役職 >

① 気象情報基準評価係

特別警報・警報基準の見直し



各市町村の地域ごとの災害特性に即した大雨特別警報等の基準値の設定・運用・検証・改善

② 流域治水対策係

流域治水協議会等への対応



流域治水協議会に参画し、各河川流域の災害特性に特化した気象資料の提供や技術的助言

③ 要配慮者対策係

高齢者や障がい者の避難に関する計画作成等の支援対応



要支援者の避難に関する計画策定への助言や内容を特化した普及啓発

④ リスクコミュニケーション推進官

多様な分野のリスクコミュニケーションを推進

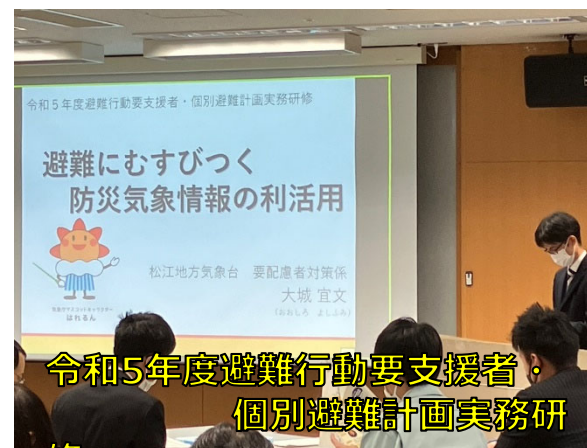


情報受け手側との対話を通じて、情報発信の改善や防災意識向上の取組

< 要配慮者対策係による講演 >



松江市社会福祉協議会



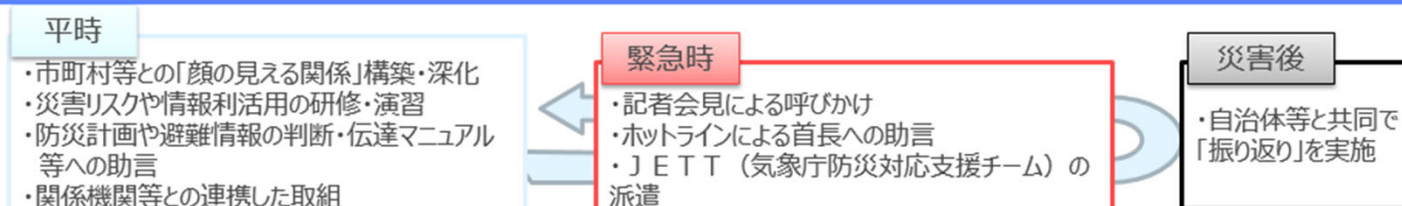
令和5年度避難行動要支援者・個別避難計画実務研修

■「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

○地域防災力向上のための人材育成

地域防災支援の強化—あなたの町の予報官（担当チーム）の取組

松江地方気象台
Matsue Local Meteorological Office



「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務を強化

・島根県を複数の市町村からなる3つの地域に分け、地域毎の災害特性を踏まえた地域専任の担当チーム「あなたの町の予報官」を編成。担当チームの常設により、各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築し、さらに深化させていきます。

【松江地方気象台の担当チーム編成】

松江・出雲・雲南
チーム



隠岐・県央
チーム



浜田・益田
チーム



積極的にJ E T Tを派遣



【島根県災害対策本部会議へ派遣】

令和3年は、7月に梅雨前線、8月には台風第9号と停滞前線により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、島根県災害対策本部会議に職員を派遣、常駐して、気象解説を実施しました。令和3年度の派遣は17事例。

気象防災ワークショップの推進



【Web会議で隠岐合同のワークショップ開催】

県内自治体防災担当職員を対象に、気象情報の利用方法などをより理解していただき、防災対応能力の向上を目的として、土砂災害編、水害対策編の気象防災ワークショップをWeb会議ツールを用いて実施しました。令和3年度までに18市町村で実施。令和4年度は出水期前に実施しました。

「振り返り」の業務改善への活用

・災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック



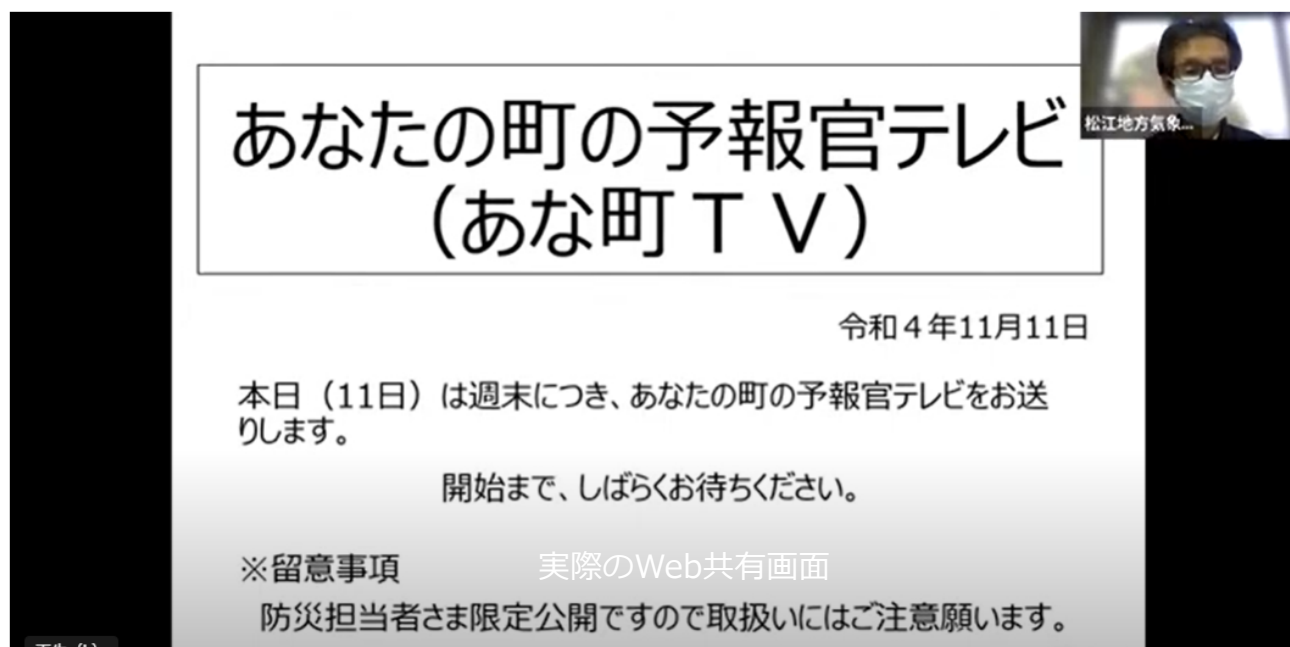
令和3年は、梅雨前線や台風等により、県内各地で大雨となり、甚大な災害が発生しました。このため、県内全市町村担当者とともに、振り返りを実施し、避難状況や活動を把握するとともに気象台への提案やニーズについて意見交換を実施しました。

※あな町TV＝気象台による防災気象情報の解説（Web）

■「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

○地域防災力向上のための人材育成

あなたの町の予報官テレビ（R6年度も継続実施）



市町村防災担当者向けに、**「あなたの町の予報官テレビ」**と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕方に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説（異常気象が見込まれる際は、随時配信）。

併せて平日は、毎日16時に**「防災メール」**を配信し、きめ細かく防災対応を支援。51

■「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用

○地域防災力向上のための人材育成

市町村防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催 (R6年度も継続実施)



【場面1】

【検討】 30日 5:19

残り時間 10 5 3

入手した「防災気象情報」等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- ① すぐに「警戒レベル3、高齢者等避難」を発令する必要があるか。
 - 検討結果を町長に説明することを想定して、理由も整理しておいてください。
- ② 今後どのような情報に特に注意するか？

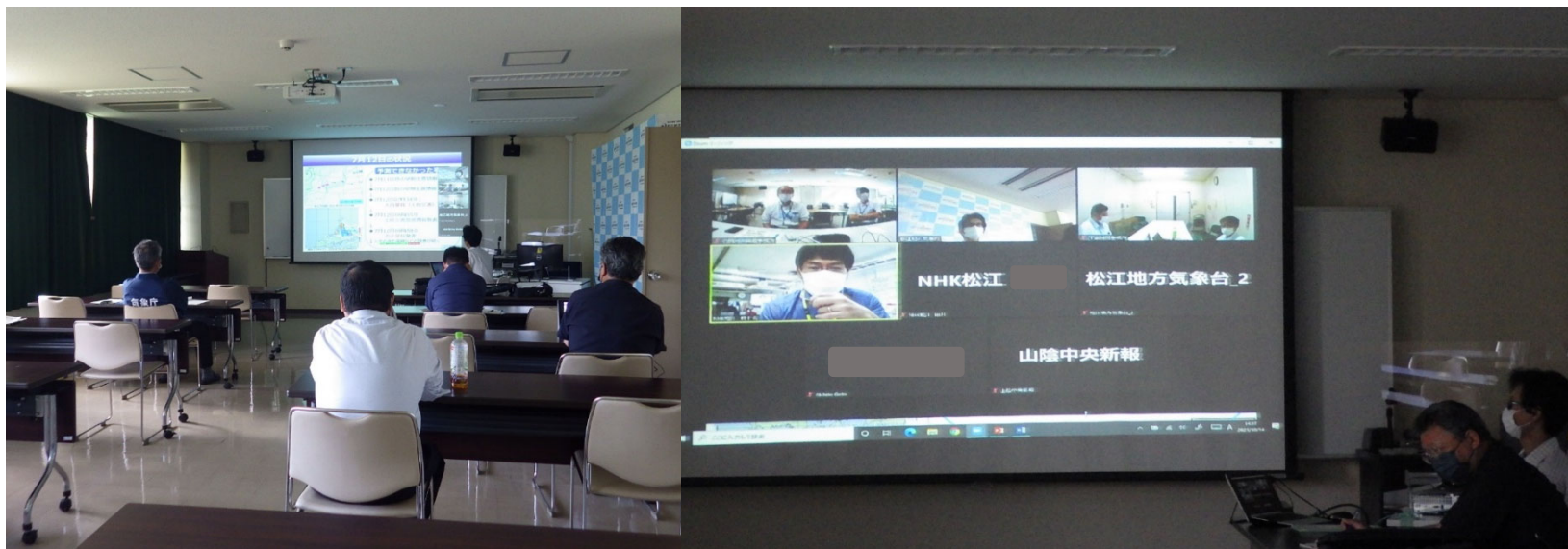
検討結果を、ワークシートに記入してください。
(検討時間10分)

- ・土砂災害・洪水災害が発生するおそれがある状況を想定し、気象台等から発表される様々な情報を参照しながら、グループワークを実施。
- ・各種防災気象情報への理解・有効活用とともに、体制強化や避難情報発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学んでいただくことによって地域防災対応力の向上を支援。

■報道機関との連携

報道機関との懇談会を定期的に開催

- ・ Web会議ツール「Zoom」を利用した「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催
- ・ 水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
- ・ Web開催により 放送局・新聞社等広域かつ多数の機関を同時に結んだ効果的・効率的な連携を実現
- ・ 雪害等もテーマに、出水期に限らず通年で開催



(3) 今後のスケジュールについて

高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 今後のスケジュール

**令和6年5月31日（金）
令和6年度 第1回 幹事会**

※益田圏域水害・土砂災害に関する減災対策協議会 幹事会と合同開催

令和5年度の実施状況の報告及びフォローアップ
令和6年度の実施予定、情報提供、今後の予定 等

**令和6年6月5日（水）
令和6年度 第1回 協議会**

令和5年度の実施状況の報告及びフォローアップ
令和6年度の実施予定、今後の予定 等



**令和7年2月中旬
令和6年度 第2回 幹事会**

令和6年度の実施状況の報告及びフォローアップ
情報提供、今後の予定 等

**令和7年2月下旬
令和6年度 第2回 協議会**

令和6年度の実施状況の報告及びフォローアップ
今後の予定 等